



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東大

上場会社名 丸大食品株式会社

コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百済 徳男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 澤中 義和

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	100,596	1.5	3,314	2.1	3,380	3.0	2,734	1.4
23年3月期第2四半期	99,148	0.2	3,246	7.9	3,282	10.5	2,695	28.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,600百万円 (6.5%) 23年3月期第2四半期 2,441百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.05	—
23年3月期第2四半期	20.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	118,841	66,263	54.4
23年3月期	117,104	64,710	54.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 64,707百万円 23年3月期 63,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	3.1	5,800	1.3	5,900	1.3	3,900	1.2	30.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	132,527,909 株	23年3月期	132,527,909 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,620,039 株	23年3月期	2,619,191 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	129,908,355 株	23年3月期2Q	132,270,499 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動の持ち直し等もあり、一部に景気回復の動きがみられたものの、欧州の財政問題及び米国経済の減速懸念を背景とした円高や株安などから、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、お客様の低価格志向による販売価格の下落や、原材料・燃料価格の高騰、及びセシウム汚染問題の影響等による食肉販売の環境悪化など厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」のもと、より安全で安心な食品の提供に努める一方、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」の諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.5%増の1,005億96百万円、営業利益は同2.1%増の33億14百万円、経常利益は同3.0%増の33億80百万円、四半期純利益は同1.4%増の27億34百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	72,790	74,616	1,826 (2.5%)	2,984	3,125	141 (4.7%)
食肉事業	26,145	25,779	△365 (△1.4%)	177	101	△76 (△42.9%)
その他	212	200	△12 (△5.8%)	84	87	3 (3.6%)
合計	99,148	100,596	1,448 (1.5%)	3,246	3,314	68 (2.1%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	43,129	44,404	1,275 (3.0%)
調理・加工食品	29,661	30,212	551 (1.9%)

①加工食品事業

震災後の内食回帰傾向のなか、ハム・ソーセージ部門では、主力ブランドの「燻製屋熟成ウインナー」の売上拡大を図るとともに、内食志向に対応した積極的なメニュー提案の実施などにより「いつも新鮮ロースハム」や「切落し生ハム」などの販売促進に努めました。また、中元ギフトにおきましても、主力ブランドである「王覇」「煌彩」シリーズを中心に堅調に売上を伸ばしました結果、当部門の売上高は、前年同期比3.0%の増収となりました。

調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」や「旨味工房カレー」などのレトルト食品の売上が順調に推移しました。また、デザート類の「SWEET CAFE」シリーズ、飲料・ヨーグルト類では「TAPIOCA TIME」シリーズ、「カスタードバニラヨーグルト」などの売上拡大に努めました結果、当部門の売上高は、前年同期比1.9%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比2.5%増の746億16百万円となりました。営業利益は、原材料・燃料価格が高騰するなど厳しい環境下にありましたが、売上高の増加や生産・販売両部門でのコスト削減効果などから、前年同期比4.7%増の31億25百万円となりました。

②食肉事業

牛肉につきましては、お客様の低価格商品志向により需要が伸び悩むなか、米国産牛肉の販売拡大に努めましたことから販売数量は増加しましたが、セシウム汚染の影響などによる国内相場の急落により売上高は低迷しました。豚肉につきましても相場が高止まりしたことにより販売数量が減少し苦戦しました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1.4%減の257億79百万円となりました。営業利益は、豪州産牛肉販売の収益性の悪化などから前年同期比42.9%減の1億1百万円となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は前年同期比5.8%減の2億円、営業利益は前年同期比3.6%増の87百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増 減
総 資 産	117,104	118,841	1,736
負 債	52,394	52,578	183
純 資 産	64,710	66,263	1,553
自 己 資 本 比 率	54.1 %	54.4 %	0.3 %

当第2四半期連結会計期間における総資産は、有形固定資産が10億18百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が12億99百万円増加したほか、たな卸資産が4億55百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて17億36百万円増加し、1,188億41百万円となりました。

負債は、借入金11億3百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が13億97百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて1億83百万円増加し、525億78百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当金10億39百万円の支払いがありました。四半期純利益27億34百万円の計上などにより前連結会計年度に比べて15億53百万円増加し、662億63百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度に比べて0.3%増加し、54.4%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,040	5,222	3,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,310	△ 2,198	△ 887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,434	△ 2,821	△ 386
現金及び現金同等物の期末残高	8,909	13,784	4,874

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加などによる減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上などから、52億22百万円増加(前年同期比31億81百万円増加)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、21億98百万円減少(前年同期比8億87百万円支出増加)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金及びリース債務の返済による支出や配当金の支払いなどから、28億21百万円減少(前年同期比3億86百万円支出増加)しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加(前年同期比48億74百万円増加)し、137億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,619	13,821
受取手形及び売掛金	19,921	21,220
商品及び製品	6,085	6,579
仕掛品	654	707
原材料及び貯蔵品	7,857	7,765
繰延税金資産	1,895	2,263
その他	662	1,003
貸倒引当金	△61	△52
流動資産合計	50,633	53,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,509	45,314
減価償却累計額	△29,918	△30,160
建物及び構築物(純額)	15,591	15,154
機械装置及び運搬具	42,326	43,538
減価償却累計額	△33,682	△34,811
機械装置及び運搬具(純額)	8,643	8,726
工具、器具及び備品	5,148	5,089
減価償却累計額	△3,475	△3,459
工具、器具及び備品(純額)	1,672	1,630
リース資産	8,693	8,237
減価償却累計額	△3,448	△3,622
リース資産(純額)	5,245	4,614
土地	19,097	18,715
建設仮勘定	130	520
有形固定資産合計	50,381	49,362
無形固定資産		
投資その他の資産	826	701
投資有価証券	8,758	8,194
関係会社株式	—	130
長期貸付金	147	152
繰延税金資産	55	66
その他	6,656	7,301
貸倒引当金	△353	△377
投資その他の資産合計	15,264	15,468
固定資産合計	66,471	65,532
資産合計	117,104	118,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,178	19,575
短期借入金	4,533	6,401
1年内返済予定の長期借入金	7,950	6,857
未払法人税等	706	510
未払消費税等	381	320
リース債務	1,346	1,195
賞与引当金	1,101	1,265
その他	6,500	7,080
流動負債合計	40,698	43,207
固定負債		
長期借入金	5,153	3,274
繰延税金負債	1,541	1,493
退職給付引当金	548	622
リース債務	3,965	3,487
その他	486	492
固定負債合計	11,696	9,370
負債合計	52,394	52,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	34,277	35,972
自己株式	△697	△697
株主資本合計	61,982	63,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,505	1,150
繰延ヘッジ損益	0	△36
為替換算調整勘定	△92	△84
その他の包括利益累計額合計	1,414	1,030
少数株主持分	1,313	1,556
純資産合計	64,710	66,263
負債純資産合計	117,104	118,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間
四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	99,148	100,596
売上原価	72,947	74,494
売上総利益	26,200	26,102
販売費及び一般管理費	22,953	22,787
営業利益	3,246	3,314
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	96	109
不動産賃貸料	92	87
その他	209	189
営業外収益合計	412	399
営業外費用		
支払利息	250	210
その他	126	122
営業外費用合計	376	332
経常利益	3,282	3,380
特別利益		
固定資産処分益	236	13
負ののれん発生益	—	19
特別利益合計	236	32
特別損失		
固定資産処分損	105	127
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	79	0
減損損失	324	74
出資金評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	546	203
税金等調整前四半期純利益	2,972	3,210
法人税、住民税及び事業税	496	424
法人税等調整額	△472	△197
法人税等合計	24	226
少数株主損益調整前四半期純利益	2,948	2,984
少数株主利益	253	249
四半期純利益	2,695	2,734

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,948	2,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△528	△355
繰延ヘッジ損益	△6	△36
為替換算調整勘定	27	8
その他の包括利益合計	△507	△383
四半期包括利益	2,441	2,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,188	2,350
少数株主に係る四半期包括利益	253	249

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,972	3,210
減価償却費	3,008	2,888
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28	14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△384	△424
受取利息及び受取配当金	△111	△122
支払利息	250	210
固定資産処分損益 (△は益)	△131	114
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	79	0
減損損失	324	74
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,216	△1,304
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,103	△454
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,130	1,397
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△203	△61
その他	△136	455
小計	2,505	5,997
利息及び配当金の受取額	139	148
利息の支払額	△250	△209
法人税等の支払額	△354	△714
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,040	5,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△16	△15
投資有価証券の売却による収入	1	—
固定資産の取得による支出	△1,682	△2,132
固定資産の売却による収入	607	123
関係会社株式の取得による支出	—	△130
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5
その他	△220	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,310	△2,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△498	1,863
長期借入れによる収入	4,003	500
長期借入金の返済による支出	△4,311	△3,471
リース債務の返済による支出	△697	△669
配当金の支払額	△925	△1,039
その他	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,434	△2,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,706	202
現金及び現金同等物の期首残高	10,615	13,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,909	13,784

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品事 業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,790	26,145	98,935	212	99,148	—	99,148
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	448	448	△448	—
計	72,790	26,145	98,935	661	99,596	△448	99,148
セグメント利益	2,984	177	3,162	84	3,246	—	3,246

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失324百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第2四半期連結累計期間における計上額であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品事 業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,616	25,779	100,396	200	100,596	—	100,596
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	597	597	△597	—
計	74,616	25,779	100,396	798	101,194	△597	100,596
セグメント利益	3,125	101	3,227	87	3,314	—	3,314

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失74百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第2四半期連結累計期間における計上額であります。

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、新たに取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である(株)熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19百万円であります。

(その他の情報)

当社グループは、連結売上高の合計に占める国内の外部顧客への売上高の割合が90%を超えております。また、海外売上高は連結売上高の10%未満であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
記載すべき事項はありません。